

25. 12. 10

防衛省経理装備局

艦船武器課需品室

海上自衛隊硫黄島及び防衛大学校における調理作業等委託民間競争入札実施要項（案）に関する意見募集の結果について

防衛省において、平成25年10月2日（水）から平成25年10月15日（火）までの間、海上自衛隊硫黄島・防衛大学校における調理作業等委託民間競争入札実施要項（案）について、広く国民の皆様からの御意見を募集しましたところ、4件の御意見をいただきました。お寄せいただいた御意見の内容と、それに対する防衛省の考え方を別紙のとおり報告いたします。

皆様の御協力に深く御礼申し上げるとともに、今後とも防衛省・自衛隊に御協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

住 所：〒162-8801

東京都新宿区市谷本村町 5-1

防衛省経理装備局艦船武器課需品室

電話番号：（代表）03-3268-3111 内線 21022

意見内容等について

No.	地区名	ページ	意見内容	意見に対する考え方	実施要項 (案の修正)	備考
1	共通	全般	守秘義務について更に厳格さを求めた要項にして欲しい	個人情報の保護、秘密の保持等について記載されているため守秘義務に関する注意喚起は十分であると考えております。 また、提案書により、秘密等保持に係る教育について審査を実施いたします。さらに、守秘義務違反に対する具体的な罰則も記載されていることから、十分な抑止効果はあるものと考えております。	なし	
2	共通	全般	反日、反自衛隊の人が食料テロを行う可能性もあるため、民間競争でコストは下がるかもしれないが、国防に関しては別であり、民間競争に入札に反対		なし	
3	共通	全般	機密も発生する自衛隊に民間人を入れてはいけない。 (特に硫黄島について対中国の問題もあり)食事に何か混入されたら隊員の行動に支障が生じるため、民間業者の入札は絶対反対	秘密保全に関する事項は、従業員及び従業員を雇用する業者に対して注意喚起しており、役務場所である食堂内において官側監督官が常駐し業務の監督を行うことにより、基地等の保全は確保されているものと考えております。 また、食料テロ等の食品安全に関するご指摘につきまして、食材の調達等は、官側が実施することとしており、監督官による役務作業の監督及び給食の提供前に検食官による検食を実施することから対策は図られていると考えております。 ※本土からの食材の輸送は、海自が実施します。	なし	
4	共通	全般	敵性国家の工作員等が日本国籍を取得したり、偽装することができるので、民間業者に業務委託するのであれば現場に入る管理者や従事者の身元調査を徹底的にすべき		なし	
				以下余白		